

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表）・一般

（局・庁）・課（室）名 県土整備部河川整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>3. ハッ場ダムについて</p> <p>(1) 約50年間の実際の洪水被害が県全体で1,200億円なのに、ハッ場ダムの費用便益算定において、たった1回の洪水でなぜ1,600億円もの被害が出るのか。</p>	<p>1 ご質問の1,600億円とは、ハッ場ダムの費用便益の計算過程において出された数字の1つであり、利根川本川堤防が破堤した場合の想定被害額を、国が推計したものです。</p> <p>2 一方、1,200億円は実被害額の積上げであり、その被害は、利根川本川に流入する支川において発生したもので、それ自体を比較できるものではないと認識しております。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

（局・庁）・課（室）名 県土整備部河川整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>3. ハッ場ダムについて (2) 利根川の野田市瀬戸地先の堤防のない箇所は、ただちに措置を講じるべきだがどうか。</p>	<p>1 ご指摘の箇所については、野田市において、宅地付近の盛土を実施し、水防活動と併せて被害軽減に努めているところです。</p> <p>2 また、河川管理者である国は、「利根川全体の改修を進める中で、被害状況を考慮して当該地区の整備時期を今後検討するとともに、当面は浸水予測や照明車の派遣など、野田市が行う水防活動を支援する」としています。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表）・一般

（局・庁）・課（室）名 県土整備部河川整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>3. ハッ場ダムについて</p> <p>(3) 国土交通省の河川重要水防箇所のうちAランクが利根川の千葉県側だけで100箇所以上ある。こうした堤防の危険箇所の改修・補強こそ、ハッ場ダムより最優先させるべきだがどうか。</p>	<p>1 「重要水防箇所」とは、洪水時に、わん曲部で川底が深堀れする恐れのある箇所などを予め設定し、重点的に監視を行うなど、水防活動上「特に注意を要する箇所」を事前に周知するためのものであり、施設整備の優先順位を示すものではありません。</p> <p>2 本県としては、ダムなどの洪水調節施設と河川の整備をバランスよく進めるとともに、水防体制などのソフト対策をさらに充実させることによって、より一層の安全と安心の確保に努めていくことが重要であると考えています。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表）・一般

（局・庁）・課（室）名 県土整備部河川整備課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>3. ハッ場ダムについて</p> <p>(4) 大震災では、利根川の堤防でも液状化と思われる被害が発生しており、堤防の土壌調査と補強をただちに行うべきと思うがどうか。</p>	<p>1 東日本大震災に際し、利根川の千葉県内において被災した箇所は約120箇所あり、河川管理者である国は、「昨年6月までに応急復旧が、さらに本年5月末までに本復旧工事が完了する。」としています。</p> <p>2 また、国は「復旧工事と並行して堤防の耐震点検を行い、その点検結果を基に必要な対策の検討を行う。」としており、本県としては、必要な対策の早期具体化に向けて、国に対し働きかけてまいります。</p>	<p>副知事 石渡 哲彦</p>